



Global COE Seminar

第20回 離散幾何解析セミナー

日 時： 2011年11月25日(金) 13:00~14:30
場 所： 京都大学理学研究科3号館552号室
講演者： 斎藤 恭司氏 (IPMU)
題 目： 不連続群や不連続モノイド上定義された分配関数

格子上定義された可解格子模型からYang-Baxter方程式の解が見つかり、量子群の構成に繋がって行きます。それでは、出発点に有った正方格子を非可換な不連続群（例えば組み紐群、リーマン面の基本群など）に置き換えたならなにが起きるのか？その研究の第一歩として、熱力学的極限関数を導入して、特別な場合には計算してみます。